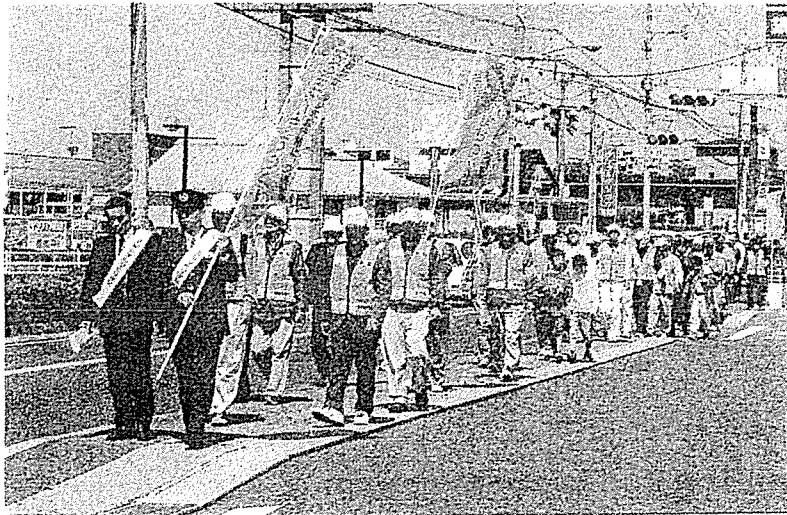


共創プラン～かむり

“絆”応援隊



平成23年4月

加布里校区まちづくり推進委員会

加布里校区まちづくり計画 目次

はじめに	1
1 加布里校区の現状	2
2 校区の課題	3
3 加布里校区が目指す将来像	4
4 事業計画の目的と期間	4
5 基本方針	4
①健康・福祉活動事業	5
②子育て・青少年健全育成活動事業	6
③地域コミュニティ活動事業	7
④環境美化活動事業	8
※ 資 料	
アンケート調査表	9
アンケート結果	11
まちづくり計画策定の経過	17
まちづくり推進委員会名簿	18

はじめに

平成22年1月の合併で「糸島市」は大きく変貌しました。市の規模が大きくなり、そこに住む人々の生活課題も複雑になっています。同様に地域の課題もまちまちで、とても行政だけで対応できるものではありません。

そこで、新市では“地域の課題解決は地域で”というスローガンのもと「いとしま共創プラン～校区まちづくり事業」を打ち出し、地域課題の解決や地域資源を活用した新たなまちづくりを押し進めています。

私たちの住む加布里は農業、漁業、商業を中心とした世帯と、サラリーマン世帯が混在する校区です。幸いに恵まれた自然と連帯・協調を大切にする土地柄です。この校区ならではのよさを子どもたちにも受け継いでもらい、家族・地域の‘絆’を大切にするまちづくりを目指して計画を策定しました。

この計画に基づき具体的な取り組みを進めていきたいと思えます。校区の皆さんのご協力とご支援をよろしくお願いします。

平成23年4月

加布里校区まちづくり推進委員会

1 加布里校区の現状

○海も川もある自然に恵まれた加布里

加布里は、昔から連帯と協調性が強く、助け合いの精神が旺盛な土地柄です。校区民対象のアンケートにも9割以上の世帯が「住みやすい」と答えるほど。

「地域見まもり隊加布里」の青パトによる校区一斉パトロールも他校区の先駆けとなった“つながり”を大切にす土地柄を示した運動と言えるでしょう。

加布里校区は、南東部に宮地嶽が独立してそびえ、北西部に加布里湾があります。北部は江戸時代に干拓して出来た岩本、千早新田が歴史にその名を残し、南部は長野川の恩恵を受けた農業中心の東地区が。加布里地区はその昔、大小40隻の廻船を持ち、漁港としても重要な地域として栄えた所です。また神在地区は、その多くが校区の中心を東西に走る国道202号、南側に整備された西九州自動車道の間を中心に開発され、特に昭和30年代後半からの高度成長期以降にその数が増えた閑静な住宅地です。

加布里校区は自然にも恵まれ、長糸から長野川が貫流し、泉川で雷山川と合流、加布里湾へと注いでいます。干拓によって出来た泉川には「はまぼう夢の里」があり、花の咲く夏季にはハマボウの群生を見に多くの人たちが訪れます。

また、糸島平野の豊かな栄養を含んだ雷山川の河口は牡蠣や天然ハマグリなどの魚介類を育て、シーズンになると加布里漁港には牡蠣小屋が建ち、干物とともに冬の味覚が楽しめます。加布里漁港そばの加布里公園から見る夕日は、糸島富士と呼ばれる可也山とのコントラストも素晴らしく、その情景は感動さえ与えてくれます。

○少子高齢化が進む加布里

平成22年3月末日現在の加布里校区の人口は7,654人、世帯数は2,828世帯で、過去5年間で人口が350人、世帯数が約160世帯減少しています。

加布里小学校の児童数も過去10年間で約600人から330人へと半数近く減少しています。

校区全体の1世帯当たり平均世帯人員は2.7人で、高齢化率は23.6%、15歳未満の年少人口率は10.8%であり、いずれも市の平均値より少子高齢化が進んでいます。中でも神在五行政区は人口448人に対し高齢者は137人（高齢化率30.6%）、年少人口はわずか29人（年少人口率6.5%）と少子高齢化が最も顕著です。

人口と世帯数の推移

加布里校区の人口、世帯の状況（平成22年3月末現在、単位：人、％）

行政区	人口	世帯数	平均 世帯人員	年少人口 (15歳未 満)	年少 人口率 (%)	高齢者 人口 (65歳以 上)	高齢化率 (%)
東	652	215	3.0	83	12.7	180	27.6
神在一	477	174	2.7	48	10.1	127	26.6
神在二	1,014	372	2.7	138	13.6	182	17.9
神在三	1,656	593	2.8	156	9.4	315	19.0
神在四	897	360	2.5	83	9.3	236	26.3
神在五	448	178	2.5	29	6.5	137	30.6
岩本	361	128	2.8	39	10.8	100	27.7
加布里東	1,687	626	2.7	206	12.2	388	23.0
加布里中	231	90	2.6	21	9.1	70	30.3
加布里西	231	92	2.5	27	11.7	74	32.0
校区全体	7,654	2,828	2.7	830	10.8	1,809	23.6
市全体	100,551	36,432	2.8	14,498	14.4	21,324	21.2

2 校区の課題

- ・ 高齢化が進み、一人暮らしの高齢者、高齢夫婦世帯が増加している
- ・ 災害時の緊急避難体制が整備されていない
- ・ 子どもから高齢者までが集える公園、遊び場の整備が不十分
- ・ 街路灯の設置が不十分
- ・ 屋根付きの待合室やエレベーターなど加布里駅の整備が遅れている
- ・ 宮地嶽や加布里公園、長野川などの地域資源が生かされていない
- ・ 通学路やバス等の交通網の整備が不十分

3 加布里校区が目指す将来像

糸島市の将来人口予測によると、加布里校区はこれからも人口減少傾向が続く2015年が7,508人、2025年が7,283人、2035年が6,701人となっています。高齢化率こそ2030年の35.7%をピークに鈍化するものの、15歳から64歳までの生産人口は2035年まで毎年減少します。

地域の活性化という意味では“マイナス要因”ばかりですが、校区民の知恵と工夫で住みよいまちづくりを進めなければなりません。

全世帯を対象として実施したアンケート調査でも、多くの課題が浮き彫りになっています。しかし、これらの課題は一朝一夕に解決出来るものではありません。出来るものから少しずつ地域住民の協働と連帯の中でやっていくしか方法がありません。

幸い、加布里校区は「地域みまもり隊」の青色パトロールにみられるように連帯と相互扶助の精神が強い土地柄です。このよさを生かし、住民のふれあいと“絆”を一層深め、新しいまちづくりを進めていくため、次の4つを10年間でこなしていく重点項目として取り上げて事業を進めていきます。

4 事業計画の目的と期間

加布里校区まちづくり事業は「かむり“絆”応援隊」をキャッチフレーズとして、校区民の総意による10年を実施期間とする校区まちづくり計画を策定し、校区民の参加と協働による住みよいまちづくりを進めます。

5 基本方針

- 1 健康・福祉活動を進めます。
- 2 子育て・青少年健全育成活動を進めます。
- 3 地域コミュニティ活動を進めます。
- 4 環境美化活動を進めます。

この計画は4つの基本方針ごとに実施スケジュールを明示しています。計画の期間は23年度から短期(3年)、中期(5年)、長期(10年)とし、途中で計画の見直しを行います。

※新規事業以外は継続事業(拡充)とします。

1 健康・福祉活動事業

高齢化に伴い、住民の健康増進に対する意識が高くなっています。市でも23年度を「健康づくり元年」と位置づけています。この気運を盛り上げ、各種スポーツを通じて校区民の健康づくりを進めます。また、高齢者の地域での孤立化を防止するため、一人暮らしなどの高齢者の見守り、安否確認を行ないます。

具体的に取り組む内容	実施スケジュール		
	短期	中期	長期
宮地嶽の整備とウォーキング大会(新規)	○		
校区球技大会(継続)	○	○	○
校区スポーツ大会(継続)	○	○	○
グラウンドゴルフ大会(継続)	○	○	○
校区健康マラソン(継続)	○	○	○
高齢者の見守り、安否確認(継続)	○	○	○

2 子育て・青少年健全育成活動事業

地域の宝である子どもたちを守り育てるために「地域みまもり隊」による一斉パトロールを充実させ、防犯意識の啓発に努めます。また、小学校やPTAと連携し、地域でのふれあいと絆づくりを深め、子どもから高齢者まで気軽に声かけ・あいさつが実践できる雰囲気醸成します。

具体的に取り組む内容	実施スケジュール		
	短期	中期	長期
校区一斉パトロール(継続)	○	○	○
行政区ごとの防犯パトロール(新規)	○	○	○
防犯灯の設置(新規)	○		
生活道路・通学路の点検、整備(新規)	○		
危険箇所の看板設置(新規)	○		
キッズ広場の設置(新規)	○		

3 地域コミュニティ活動事業

連帯と相互扶助の精神を大切に、校区公民館を拠点にして、校区民のつながりを広げるためコミュニティづくりに努めます。

具体的に取り組む内容	実施スケジュール		
	短期	中期	長期
ふるさと文化祭(継続)	○	○	○
愛の鐘記念日事業(継続)	○	○	○
緊急時の要援護者避難体制づくり(継続)	○	○	○
ユニバーランド (地域に住む外国人との交流事業・継続)	○	○	○
九州大学との交流事業(新規)	○		

4 環境美化活動事業

ふるさとの豊かな自然を守り、潤いのある生活環境をつくりだすため、花いっぱい運動や加布里公園、かぶりんパークの整備等を通じ、校区民のボランティア意識の高揚と、一層の連帯意識の啓発に努めます。

具体的に取り組む内容	実施スケジュール		
	短期	中期	長期
桜の里づくり事業（新規） （加布里公園、かぶりんパークの桜の植樹）	○		
長野川下流の環境美化看板設置（新規）	○		
花いっぱい運動（継続）	○	○	○
ラブアースへの参加促進（継続）	○	○	○
長野川流域の清掃活動（新規）	○		

資料編

加布里校区にお住まいのの皆さんへ

加布里校区まちづくり計画策定に係るアンケート調査

平成22年11月 加布里校区まちづくり推進委員会

加布里校区では、もっと住みやすい地域づくりを進めるために、校区運営協議会内に「加布里校区まちづくり推進委員会」を設置しました。校区の将来像や地域課題の解決を校区民の総意でつくり上げ、総合的にまとめた今後10年間の活動計画を策定します。その資料とするため下記のアンケート調査を実施したいと思います。

お手数ですが、このアンケート用紙にご記入いただき平成22年11月30日(火)までにお住まいの地域の隣組長さんへお渡しください。ご協力をよろしくお願いいたします。

[該当する項目に○印を記入してください]

- ① 行政区 [東 神在一 神在二 神在三 神在四 神在五 岩本
加布里東 加布里中 加布里西]
- ②世帯主の年代 [代] ③世帯主の性別 [男 ・ 女]
- ④世帯主の職業 [農業 漁業 自営業 会社員 公務員 パート 無職 その他]
- ⑤同居人数 [記入者も含めて 人]

質問1 加布里校区は暮らしやすい地域だと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

- ①暮らしやすい ②まあまあ暮らしやすい ③暮らしにくい ④とても暮らしにくい

質問2 加布里校区の全体的なイメージをどのように感じていますか。(複数○印可)

- ① 生活するにはちょうど良い地域
② 自然環境に恵まれている地域
③ 農・漁業が活発な地域
④ 住民活動が活発で人が元気な地域

質問3 加布里校区の人との結びつきについて(複数○印可)

- ① 近所付き合いが多く、知り合いも多い
② 近所付き合いがなく、近所のことも良く知らない
③ 行政区の行事に参加することも多く、知り合いも多い
④ 行政区の行事には参加せず、付き合いもあまりない
⑤ 行政区の行事にも校区の行事にも参加している
⑥ 行政区の行事には参加するが、校区の行事には参加しない

裏面に続く

質問4 これから必要、または大切にしたいと思う活動・行事を教えてください。(複数○印可)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ①趣味の発表と住民の親睦を図るイベント | ②健康増進と住民の親睦を図るスポーツ行事 |
| ③地域をきれいにする環境美化活動 | ④花壇や沿道で花や緑を育てる活動 |
| ⑤子育て・青少年の健全育成活動 | ⑥子どもの登・下校時の見守り活動 |
| ⑦地域の防犯活動 | ⑧災害時の緊急避難体制づくり |
| ⑨一人暮らし高齢者の見守り活動 | ⑩地域の歴史と文化を大切に継承する活動 |
| ⑪その他の活動(具体的に) | |

質問5 加布里校区では、重点行事として毎年「ふるさと文化祭」を行っています。この行事をもっと盛り上げるためにはどうしたらよいか、皆様のご意見をお聞かせください。

()

質問6 校区が策定する「まちづくり計画」の中で、実践活動1事業に50万円(対象年度は23年度～25年度で、各年度4事業まで)と施設等整備事業500万円(対象年度通算)が支援されます(いずれも一部校区負担分あり)。あなたはこの補助金をどのように使えばよいと思いますか。ご意見やアイデアをお聞かせください

()

質問7 最後に加布里校区の将来を考えるうえで、ご意見やご要望等がありましたら、ご記入ください。

()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。結果は加布里校区まちづくり計画の基礎資料として活用させていただくもので、他の目的に使用することはありません。

アンケートに関する問い合わせ先 市立加布里公民館(322-3026)

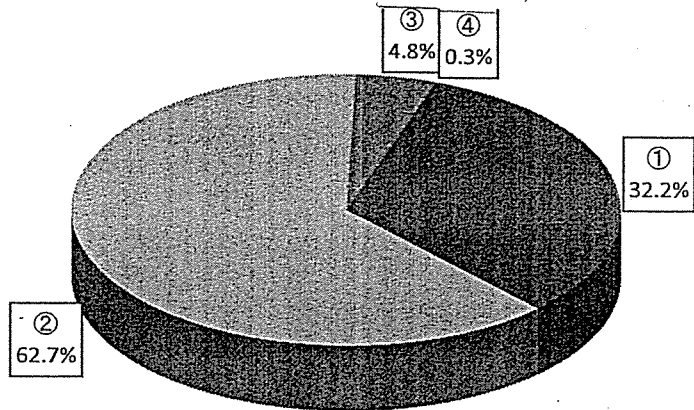
資料

■ アンケート回収率

行政名	校区全体	東	神在一	神在二	神在三	神在四	神在五	岩本	加布里東・中・西
配布数	2,620	218	157	290	504	370	176	125	780
回収数	719	72	47	62	200	62	35	62	179
回収率	27.4%	33.0%	29.9%	21.4%	39.7%	16.8%	19.9%	49.6%	22.9%

質問1 / 加布里校区は暮らしやすい地域だと思いますか。

①	暮らしやすい	32.2%
②	まあまあ暮らしやすい	62.7%
③	暮らしにくい	4.8%
④	とても暮らしにくい	0.3%
	回答数	705

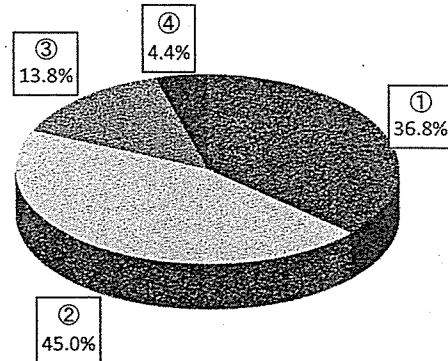


その他の意見

- 買い物が不便
- 生まれたときからずっと住んでいるから、よくわからない
- 高齢者には店も病院も遠すぎて不便

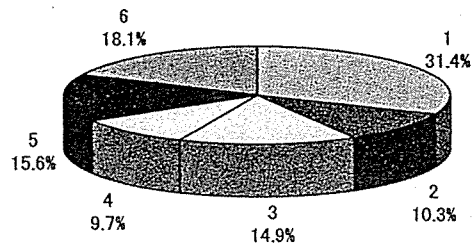
質問2 / 加布里校区の全体的なイメージをどのように感じていますか。(複数〇印可)

①	生活するにはちょうど良い環境	36.8%
②	自然環境に恵まれている地域	45.0%
③	農・漁業が活発な地域	13.8%
④	住民活動が活発で人が元気な地域	4.4%
	回答数	1055



質問3 / 加布里校区の人との結びつきについて(複数〇印可)

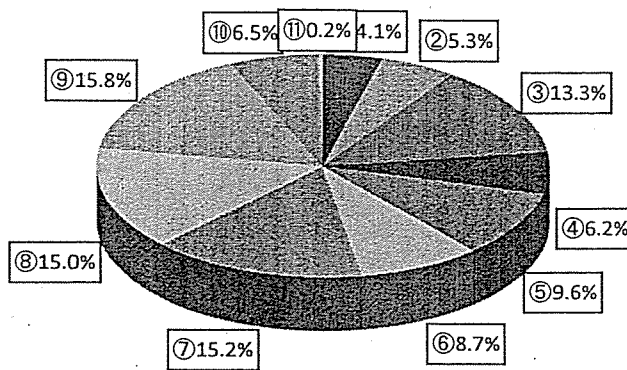
①	近所付き合いが多く、知り合いも多い	31.4%
②	近所付き合いがなく、近所のこともよく知らない	10.3%
③	行政区の行事に参加することも多く、知り合いも多い	14.9%
④	行政区の行事には参加せず、付き合いもあまりない	9.7%
⑤	行政区の行事にも校区の行事にも参加している	15.6%
⑥	行政区の行事には参加するが、校区の行事には参加しない	18.1%
	回答数	1029



- その他の意見
- 多くもなく、全くないわけではない
 - 役が回ってくれば参加する
 - 自然体での付き合いと参加
 - 適当な項目がない
 - 町内会で行事がないので疎遠になる
 - 家族間で考え方が違う
 - 子どもが小さい頃は参加していた

質問4 / これから必要、または大切にしたいと思う活動・行事を教えてください。(複数〇印可)

①	趣味の発表と住民の親睦を図るイベント	4.1%
②	健康増進と住民の親睦を図るスポーツ行事	5.3%
③	地域をきれいにする環境美化活動	13.3%
④	花壇や沿道で花や緑を育てる活動	6.2%
⑤	子育て・青少年の健全育成活動	9.6%
⑥	子供の登・下校時の見守り活動	8.7%
⑦	地域の防犯活動	15.2%
⑧	災害時の緊急避難体制づくり	15.0%
⑨	一人暮らし高齢者の見守り活動	15.8%
⑩	地域の歴史と文化を大切に継承する活動	6.5%
⑪	その他の活動	0.2%
	回答数	2,027



その他の意見

- 加布里駅にエレベーターを設置する運動を校区でやって欲しい
- 行政区の公民館で健康体操などを行ってはどうか

■記述式による回答

質問5 加布里校区では、重点行事として毎年「ふるさと文化祭」を行なっています。この行事をもっと盛り上げるためにはどうしたらよいか、皆様のご意見をお聞かせください。(回答数：192)

☆ 多かった意見 (3人以上)

PRが不足している(36人) 今のままでいい(17人) 行政区が参加するコーナーの設置(12人) もっと広い場所(小学校の運動場など)で他のイベント(盆踊り、バザー、農・魚産物の即売など)も組み合わせで行う(11人) 校区民の全員参加(9人) 歌手や落語家など目玉になるゲストを呼ぶ(8人) 内容の再検討(6人) 体験コーナーの設置(5人) コンサートや落語会などの組み合わせ(4人) 人材の発掘(3人) 開催時期の変更(3人)

☆ その他の意見

文化祭は不必要 1日でもいい 3日間にして盛り上げる
参加者には無料のお茶券やコーヒー券を配る
空くじなしのくじ引きや賞金をつけた作品の表彰
サークル発表の場で校区民の行事になっていない
企画の段階からいろんな人に参加してもらおう

質問6 「校区まちづくり」の補助金をどのように使えばよいと思いますか。ご意見やアイデアをお聞かせください。(回答数：210)

☆ 多かった意見 (3人以上)

街路灯を設置して欲しい(36人) 加布里駅の整備(36人) 内訳(駅の整備9
駅前広場整備3 待合室の設置7 エレベーターの設置9 駅前にコンビニを4
駅前に交番を3 複線化1)
生活環境の整備(通学路・生活道路を含む 29人)
公園の整備(ベンチ・遊具の設置を含む 21人)
子どもからお年寄りまでゆっくり過ごせる場所が必要(16人)
高齢者のための事業に使う(15人) スポーツ公園・施設の整備(12人)
赤坂一東のミニバス運行などによる交通(バス)の利便性の向上(10人)
子どもの遊び場づくり(9人) 特産物(農・漁業)の直売所の設置(7人)
プール建設(6人) 図書館建設(5人) 花や緑を育てる(5人)
長野川を生かした事業(5人) 加布里山笠の復活(5人)
人づくり心づくり(4人) ボランティア活動(有償を含む)への助成(4人)

加布里小が非難場所では遠すぎる（４人） ゴミ収集所の整備（３人）
牛フンへの対応（３人） 区費が高すぎる（３人）

☆その他の意見

有線放送が風向次第で聞こえない ８月２６日夜様を校区で盛り上げる
年代別スポーツ大会の開催 障害者の活動の場づくり
「地域自慢発見隊」の創設 集会所の費用に使う 災害用備品の購入
行政区毎に「注文箱（目安箱）」を設置 文化財の説明板の設置
小学校の空き教室を利用した交流の場づくり
竹林の除去 単身家庭支援 側溝のフタの軽量化

質問７ 加布里的将来を考えるうえで、ご意見や要望がありましたら、ご記入ください。（回答数：１９４）

☆多かった意見（３人以上）

サロン・見守り・安否の確認など高齢者のまちづくり（１９人）
防犯・防災・交通安全への取り組みの強化（９人）
地域コミュニティの活性化（９人）
若い人が住みよいまちづくり（９人）
子どもが安心して住めるまちづくり（８人）
高齢者の能力を生かした活動の場づくり（６人）
宮地嶽の整備（「市民の森」としてやウォーキング、ジョギング、ハイキングなどに親しめるように ５人） 隣組や行政区への加入促進（５人）
近くに店舗や企業の誘致を（５人） 声かけ・あいさつ運動の推進（４人）
加布里漁港の整備（３人） 異世代・同世代間の交流（３人）
伝統文化の継承事業（３人） 校区の運動会の復活（３人）

☆その他の意見

老人ホームの設置 マンネリ化した行事の見直し 子育て支援事業
ふるさと加布里を大切に思う教育 子どもの親が勉強する機会づくり
自慢できる郷土芸能の育成 人材の発掘と活用
向う３軒両隣の関係強化 ウォークラリーで加布里を学ぶ
行政区の行事に小・中学生の関わりを増やす ぱびるす号を東集会所まで
加布里公園を「憩いの場」にする 行政区の統廃合を進める
加布里東・中・西の区分をはっきりさせる
箱島で釣りが出来るようにしてほしい
子どもが神在神社で遊べるようにしてほしい など

加布里校区まちづくり計画策定の経過

平成22年	7月 9日	区長会（校区まちづくりについての説明）
	8月24日	区長会（計画策定の進め方について協議）
	9月24日	区長会（推進委員会設立と アンケート調査実施について協議）
	10月24日	まちづくり推進委員会発足（第1回全体会議）
	〃	第1回健康・福祉部会
	〃	第1回子育て・青少年健全育成部会
	11月11日	第2回健康・福祉部会
	13日	第1回地域コミュニティ部会
	15日	アンケート調査表全戸世帯配布
	17日	第2回子育て・青少年健全育成部会
	30日	アンケート調査表回収
平成23年	1月11日	第3回健康・福祉部会
	15日	第2回地域コミュニティ部会
	〃	第3回子育て・青少年健全育成部会
	18日	区長会（計画策定の中間報告）
	2月 3日	第4回健康・福祉部会
	5日	第3回地域コミュニティ部会
	〃	第4回子育て・青少年健全育成部会
	17日	第1回部会長会議
	23日	第5回健康・福祉部会
	25日	第2回全体会議（計画策定の進捗状況報告）
	3月 8日	第4回地域コミュニティ（環境美化）部会
	10日	第6回健康・福祉部会
	12日	第5回子育て・青少年健全育成部会
	22日	第3回全体会（計画策定の取りまとめ）